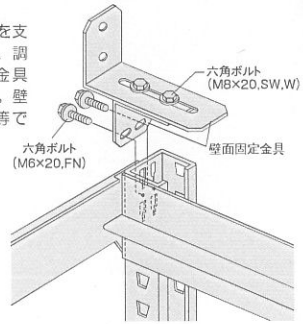
オプション部品の取付け

■耐震対策

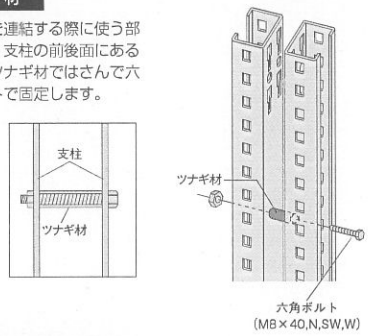
壁面固定金具

壁面固定金具（下部）を支柱に六角ボルトで止め、調節しながら壁面固定金具（上部）と固定します。壁にはアンカーボルト等でしっかりと固定します。



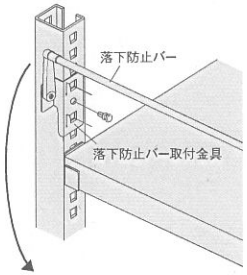
ツナギ材

棚と棚を連結する際に使う部材です。支柱の前後面にある丸孔をツナギ材ではさんで六角ボルトで固定します。



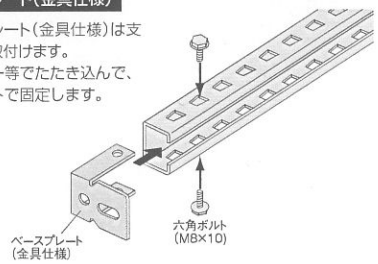
落下防止バー

落下防止バー取付金具を支柱に取付け、ナイロンブッシュで固定し、落下防止バーを取付金具にアーム止めピンとビスで固定します。



ベースプレート（金具仕様）

ベースプレート（金具仕様）は支柱下部に取付けます。
木ハンマー等でたたき込んで、六角ボルトで固定します。



お手入れの方法

- 著しい汚れは、薄めた中性洗剤につけた布をよく絞って、汚れを拭いてください。その後、乾いた布でから拭きしてください。
- ベンジン・アルコール・シンナー類及び化学ぞうきんは使用しないでください。表面仕上げのキズや変色の原因になります。

故障と思う前に（不調診断）

トラブル内容	処置方法
棚本体がグラつく	各爪部が確実に入っていますか ▼ 確実にはめ込んでください
棚板がガタつく	棚受の爪が支柱にきちっと入っていますか ▼ 確実にはめ込んでください

保証と修理について

(1) 保証期間は、ご購入日より１年間とさせていただきます。本取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無償修理いたします。

(2) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
①改造又は分解による故障及び損傷。
②ご使用者の責任に帰すると認められる故障。
③火災や天災による故障及び損傷。

(3) 保証期間経過後の修理は、有償となります。

取扱説明書　150kg/段

軽量ボルトレスラック

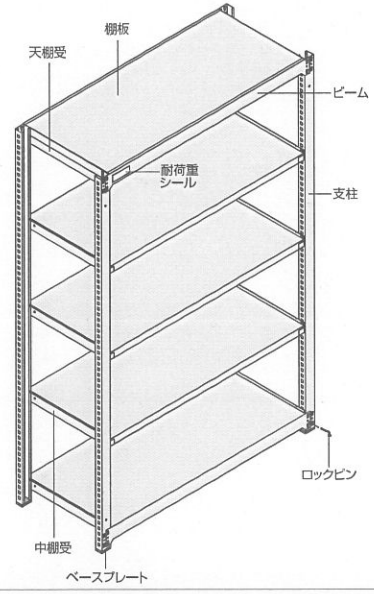
１段当りの最大積載質量は 150kg/ 段(等分布載荷)です。

●集中荷重になりますと、耐荷重能力は半減します。
●棚一連当りの最大積載質量は 1,000kg/ 連です。

このたびは、軽量ボルトレスラックをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この説明書は、商品の使い方と使用上の注意事項及び組み立て方について記載しています。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

1台当り部材(5段仕様の場合)

品名	基本型	連結型	材質	表面仕上げ
支柱	4	2	スチール	粉体塗装
ビーム	4	4	スチール	粉体塗装
棚板	5	5	スチール	粉体塗装
天棚受	2	2	スチール	粉体塗装
中棚受	8	8	スチール	粉体塗装
ロックピン	8	8	スチール	ユニクロメッキ
ベースプレート	4	2	PP(再生材)	—



安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠警告

この警告事項を守らなければ、死亡または重傷などを負う可能性があります。

集中荷重をかけないでください。最大積載質量より重いものを載せないでください。

棚一段当りの最大積載質量は等分布載荷です。集中荷重をかけたり、最大積載質量より重いものを載せると棚板がたわみ、荷物が落下し、ケガをする恐れがあります。

分解禁止。
分解・移設は専門業者にお任せください。

転倒などの事故になることがあります。

安全保安部品(ロックピン等)をはずして使用しないでください。

ビームがはずれ棚が転倒し、事故によってケガをする恐れがあります。

廃棄するときは、専門業者にお任せください。

⚠注意

この注意事項を守らなければ、傷害を負うかまたは物的損害が生じる可能性があります。

足を掛けたりよじ登ったりしないでください。

転倒してケガをしたり、棚が変形・破損する恐れがあります。

荷物を投げて載せないでください。

棚板がたわみ、ラックが破損し、ケガをする恐れがあります。

最上段の棚板に荷物を載せないでください。

棚本体が倒れ、荷物が破損したり、ケガをする恐れがあります。

棚本体に寄りかからないでください。

棚の積載物、積載量によって、棚が倒れケガをする恐れがあります。

製品の孔に指を入れないでください。

孔に指を入れると、ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には気をつけてください。

危険物(薬品・壊れ物等)を収納しないでください。

人体や衣類等を傷つけることがあります。

爪が確実に入っていない状態で使用しないでください。(定期的に点検してください)

本体が壊れてケガをする恐れがあります。

異常を発見したまま使用しないでください。

本体が壊れてケガをする恐れがあります。

上下を確認の上、正しく使用してください。

棚板を逆向きに使用すると、ケガをする恐れあります。

最上段に取り付ける棚板は支柱の上端に必ず取り付けてください。

支柱の角でケガをする恐れがあります。

雨水・湿気の多い場所では使用しないでください。

サビにより本体が壊れてケガをする恐れがあります。

適切な換気をしてください。

購入当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は、換気や通風を十分行うように心がけてください。また、室内が著しく高温多湿となる場合（室温28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどや火災の原因になります。

不安定な床面に設置しないでください。

棚が傾いて荷物が落下し、ケガをする恐れがあります。必ず水平な床面に設置してください。

※一段当りの最大積載質量表示シールを必ず取扱説明書の表示位置に貼ってください。
※この商品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡しください。

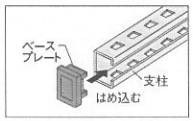
MK-1040-B140510

本体の組み立て（標準装備）

1

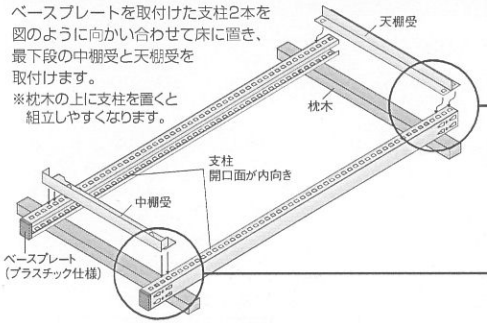
支柱下部にベースプレートを取付けます。

●ベースプレートの取付け

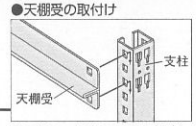


支柱の角孔が若干細くなっている方を下向きにしてください。

ベースプレートを取付けた支柱2本を図のように向かい合わせて床に置き、最下段の中棚受と天棚受を取付けます。
※枕木の上に支柱を置くと組立しやすくなります。

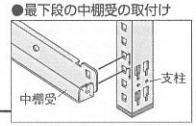


●天棚受の取付け



上から1つ目と3つ目の角孔にはめ込みます。

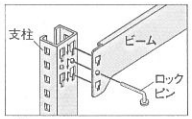
●最下段の中棚受の取付け

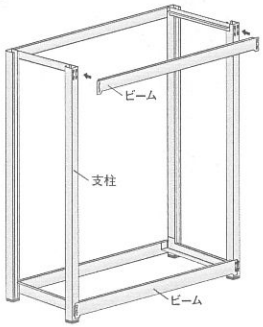


下から3つ目と4つ目の角孔にはめ込みます。

2

左右の支柱を立ててからビームを図のように下段から組み立てていきます。木ハンマー等で軽くたたき、ロックピンを差し込んでください。



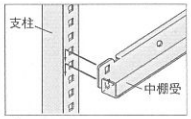


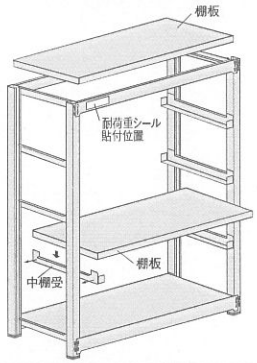
⚠ 注意

ロックピンは確実に装着してください。

3

棚板を天棚受に図のように載せてください。
中棚受を支柱に順次取付け、棚板を載せていってください。



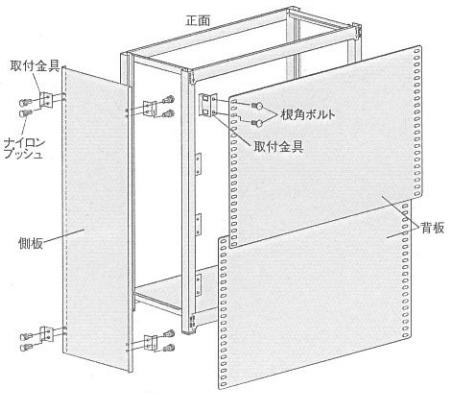


⚠ 注意

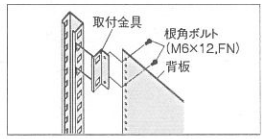
中棚受は左右同じ高さに取付け、爪部が支柱に確実に入っているか確認してください。

オプション部品の取付け

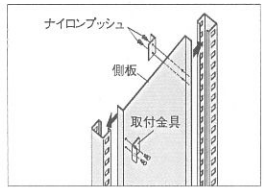
パネル

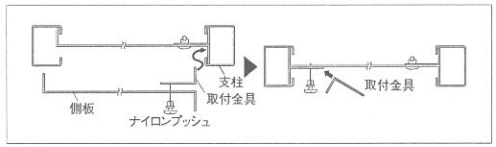


〈背板〉
取付金具を支柱に取付けます。背板を取付金具に根角ボルトで取付けます。



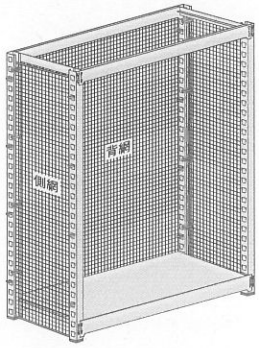
〈側板〉
側板の片側に取付け金具を取付け、下図のように支柱に入れます。
側板のもう一方も支柱に入れ、取付金具を取付けます。





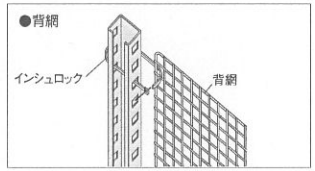
オプション部品の取付け

金網・樹脂網

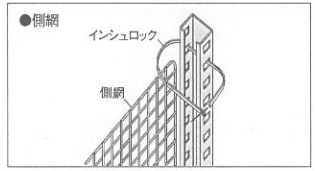


〈背網・側網〉
金網を図のようにインシュロックで支柱に取付けます。

●背網

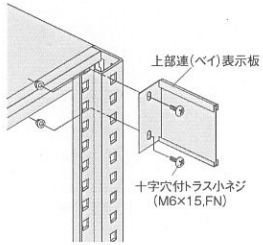


●側網



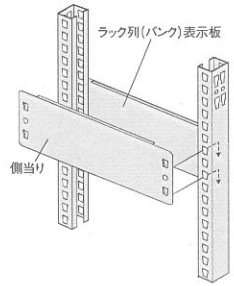
上部連（ベイ）表示板

支柱に上部連（ベイ）表示板を十字穴付トラス小ネジで取付けます。



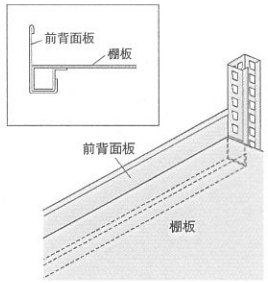
側当り/ラック列（バンク）表示板

ラック列（バンク）表示板は支柱の外側に、側当りは内側に配置します。
取付けは支柱の孔に爪部をはめ込みます。
（形状は同じです。）



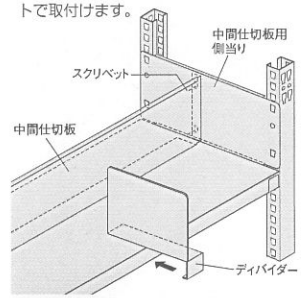
前背面板

棚板前後の角パイプ部をはさみ込むように前背面板を棚受に取付けます。



中間仕切板

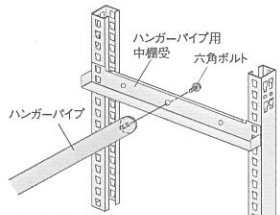
中間仕切板用側当りを支柱に取付け、その中央部に中間仕切板をスクリベットで取付けます。



ディバイダー　中間仕切板を利用した場合に使用する可動仕切りです。

ハンガーパイプ

ハンガーパイプ用中棚受を支柱に取付け、その中央部の穴にハンガーパイプ（ナット埋め込みタイプ）を六角ボルト（W3/8×16）にて取付けます。

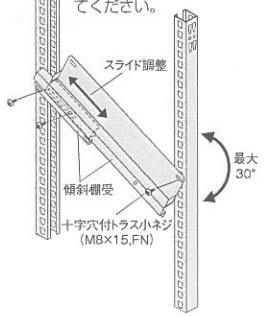


ハンガーパイプ耐荷重表

開口 860用	120kg/本（等分布載荷）
開口1160用	70kg/本（等分布載荷）
開口1460用	40kg/本（等分布載荷）
開口1760用	30kg/本（等分布載荷）

傾斜棚受

傾斜棚受は2つの部材を組み合わせて、それをスライドさせることで角度調整します。支柱には十字穴付トラス小ネジで固定してください。



可動仕切り

可動仕切りのベースプレートのコの字部分を棚板前側（手前端）に引っかけます。